

若年性認知症の人が働き続けるために ～職場における気づきと支援～

若年性認知症は、65歳未満で発症し、その年齢から、多くの方が現役で仕事や家事をしていることもあり、生活費、子どもの教育費など経済的な問題が深刻化しやすく、高齢者の認知症とは異なる課題を抱えています。このため、就労・社会参加、居場所づくり等の様々な分野にわたる支援を総合的に講じる必要があります。

このたび、職場等の労務管理者や障害福祉関係機関等へ、若年性認知症への理解を深め、就労支援や経済的支援、居場所づくりに関する知識を習得し、早期発見・早期対応、支援ネットワーク構築に資するための研修会を開催します。

当研修は、1月17日に開催し、大変好評をいただきました研修会の再配信です。

日時 令和4(2022)年3月16日(水)13:00～14:40

開催方法 オンライン開催(Zoom)(1月17日の研修会の録画の再配信)

対象 職場等の労務管理者、就労継続支援事業所等障害福祉関係者、医療・介護関係者、行政職員等 その他関心のある方

定員 100人(1月17日に申込みしたが定員超過のため
受講できなかった方優先)

参加費 無料

申込締切 令和4(2022)年3月8日(火)

申込方法 (1)電子申請システム(e-kanagawa 電子申請)のページから入力してください

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=28753

※参加者には3月15日(火)までに、ZOOMのID等を、申込みいただいた電子メールアドレスあてに送付します



■講師

(1)若年性認知症を知ろう！

ひまわりメンタルクリニック 院長 小林 博子 医師

(2)若年性認知症の本人の気持ち

かながわオレンジ大使(認知症本人大使)

(3)若年性認知症支援コーディネーターの就労支援～障害福祉と連携した事例報告～

神奈川県認知症疾患医療センター久里浜医療センター

若年性認知症支援コーディネーター 古屋富士子 氏

■問合せ先 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課 (電話 045-210-4846)